

山口県産業技術センター広報戦略（概要）

令和 8 年 3 月 1 8 日

1 広報戦略策定にあたって

センターでは、ホームページ、展示会、セミナー、パンフレット等を通じて広報活動を行ってきたが、必ずしも認知度向上・利用促進に十分つながっているとは言えない状況にある。

主な課題

- ・ 広報施策ごとの目的・ターゲット・優先順位が不明確
- ・ 部署ごとに個別実施され、一体感のある広報になっていない
- ・ 企業の所在地・規模・利用状況による認知・利用の偏り
- ・ 「相談の敷居が高い」「何を相談できるかわからない」という声

「技術で困ったときにまず相談される支援機関」として認識されるため、**戦略的・体系的な広報への転換**が必要

2 目的と基本方針

目的

センターの役割や強みを効果的に発信し、県内企業等の利用促進を図る

基本方針

（１）目的・ターゲットを明確にした広報への転換

「誰に・何を伝え・どのような行動につなげるか」を施策ごとに整理

（２）属人化を排し、再現性のある広報体制の構築

見学、展示、SNS、マスコット等の運用ルールを整備

（３）情報の整理・統合による「分かりやすさ」の向上

ホームページを基盤に「迷わず必要な情報にたどり着ける」構成へ

（４）限られたリソースを前提とした重点化・効率化と広報体制の強化

リソースの制約がある中でも効果を最大化できるよう、重点施策を明確化

（５）「研究成果」から「利用価値」へ伝え方を転換

技術内容ではなく、企業メリット・活用イメージを軸に発信

3 ターゲット別の広報施策の整理

ターゲット区分と広報の目的

- | | |
|------------|-------------------------------|
| ① 非認知企業 | : センターの存在及び役割の認知 |
| ② 認知未利用企業 | : センターの理解及び利用促進 |
| ③ 近年未利用企業 | : センターの理解及び利用促進 |
| ④ 利用企業 | : 利用の継続・拡大・高度化、プロジェクト支援等への展開 |
| ⑤ 行政・支援機関等 | : センターの機能、強みの共有、連携強化 |
| ⑥ 学生・求職者 | : センターの存在や業務内容への理解促進、応募意欲向上 |
| ⑦ 県民 | : センターの社会的役割への理解促進、将来世代への科学啓蒙 |

ホームページを情報の基盤として他施策と連動させ、見学・展示・セミナー・相談会等を「利用につながる導線」として設計

表 広報施策とターゲット

広報施策\ターゲット	①非認知企業	②認知未利用企業 ③近年未利用企業	④利用企業	⑤行政・支援機関等	⑥学生・求職者	⑦県民
ホームページ	●	●	●	○	●	○
所内見学	○	●	○	○	○	●
科学教室等のイベント					○	●
所内展示物		○	○	○	○	●
SNS	○	●	●	○	●	○
リーフレット・チラシ	●	●	●	●	●	○
開放機器一覧		●	●	○		
成果事例集	○	●	●	○		
セミナー	○	○	●	○		
採用広報					●	○
企業訪問	●	●	●			
展示会出展	●	●	○	○	○	
メディア発信	●	○		○	○	●
マスコットキャラクター	○	○			○	●
技術者交流会	○	○	●	○	●	
出張相談会	●	●	○			

●:メインターゲット ○:サブターゲット

4 重点施策

(1) 短期重点施策（概ね1～2年）

既存資源を活用しながら、比較的早期に改善効果が見込める施策を中心に取り組む。

- ① ホームページの情報整理・導線改善
- ② 所内見学、展示の標準化
- ③ 広報素材の整理
- ④ 採用広報の強化（基盤整備）
- ⑤ 出張相談会の試行的実施
- ⑥ 技術者交流会の試行的開催（技術報告会の見直し）

(2) 中期重点施策（概ね3～4年）

仕組みづくりや予算措置が必要な施策に段階的に取り組む。

- ① ターゲット別広報の本格展開
- ② デジタル媒体の活用高度化（ホームページリニューアル、SNS・動画強化等）
- ③ 出張相談会の実施
- ④ 技術者交流会の開催

地方独立行政法人山口県産業技術センター 令和8年度取組概要 「中核的技術支援拠点」としての更なる機能強化

補足資料5
別紙

新 広報・デザイングループの新設

令和8年3月に策定した「山口県産業技術センター広報戦略」を、デザイン系研究員の専門的なデザイン技術を活用して効果的に展開するとともに、企業へのデザインに関する支援を積極的に行うため、「広報・デザイングループ」を新設（5名体制（兼務含む））

主な実施内容

○技術者交流会の開催

従来の聴講型の技術報告会を交流型の技術交流会にリニューアルし、企業、大学・高専（学生を含む）及び県内研究機関等とのネットワークを強化

○出張相談会の開催

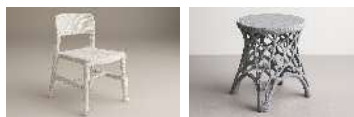
産業技術センター利用率の低いエリアへのPRを強化するため、地域の商工会議所等と連携し、産業技術センター職員が出張して相談対応を実施

○職員採用広報の強化

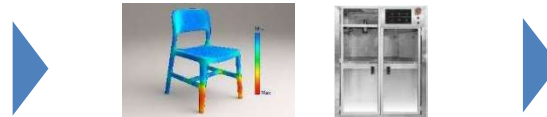
職員採用部門と連携し、ホームページやSNS等様々な媒体を活用した情報発信による職員採用広報の強化

○企業へのデザイン支援

- ・3Dプリンター等の機器を活用した商品企画から試作まで一貫したデザイン支援の実施
- ・「デザイン振興」「産業技術センターPR」を目的とした「デザインコンペ」の企画・開催



応募作品（3Dデータ）



センターの機器を活用して、技術的検証や実物大モデル（応募作品の1部）の試作も実施予定

